

平成25年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年9月12日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 サンオータス  
 コード番号 7623 URL <http://www.sunautas.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北野 俊  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 古川 晴男

TEL 045-473-1211

四半期報告書提出予定日 平成24年9月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年4月期第1四半期の連結業績(平成24年5月1日～平成24年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年4月期第1四半期	8,407	3.6	68	—	75	—	51	—
24年4月期第1四半期	8,118	11.9	△57	—	△58	—	△96	—

(注) 包括利益 25年4月期第1四半期 46百万円 (—%) 24年4月期第1四半期 △97百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年4月期第1四半期	16.04	—
24年4月期第1四半期	△30.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
25年4月期第1四半期	13,196	—	3,578	—	27.1
24年4月期	14,175	—	3,563	—	25.1

(参考) 自己資本 25年4月期第1四半期 3,576百万円 24年4月期 3,562百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年4月期	—	0.00	—	10.00	10.00
25年4月期	—	—	—	—	—
25年4月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年4月期の連結業績予想(平成24年5月1日～平成25年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,500	△1.3	110	—	110	—	60	—	18.86
通期	35,000	0.6	350	116.2	300	68.5	180	283.5	56.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 有  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年4月期1Q	3,230,500 株	24年4月期	3,230,500 株
② 期末自己株式数	25年4月期1Q	49,370 株	24年4月期	49,370 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年4月期1Q	3,181,130 株	24年4月期1Q	3,181,130 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
	(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
	(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2.	サマリー情報（その他）に関する事項	4
	(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
	(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
	(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3.	四半期連結財務諸表	5
	(1) 四半期連結貸借対照表	5
	(2) 四半期連結損益計算書 及び四半期連結包括利益計算書	7
	四半期連結損益計算書	
	第1四半期連結累計期間	7
	四半期連結包括利益計算書	
	第1四半期連結累計期間	8
	(3) 継続企業の前提に関する注記	9
	(4) セグメント情報	9
	(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
	(6) 重要な後発事象	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要やエコカー補助金等の景気刺激策を背景に緩やかな回復が見られるものの、欧州諸国債務危機を巡る対応策の不確実性が依然として高く、世界景気に減速感が広がっております。こうした海外経済の状況が金融資本市場を通じた影響も含め、消費者の購買意欲を後退させるリスクが高まり、また、電力供給の制約やデフレの影響も懸念され、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループでは「ニュー・トータルカーサービス」の提供を通じて「顧客満足度の向上」に傾注し、集客力の強化によるビジネスチャンスの拡大を図るとともに、常にコストを意識した営業活動に取り組んでまいりました。

その結果、売上高は8,407百万円（前年同四半期比289百万円増収、3.6%増加）、営業利益は68百万円（前年同四半期は57百万円の営業損失）、経常利益は75百万円（前年同四半期は58百万円の経常損失）を計上し、利益面は前年同四半期から大幅に改善しております。法人税等負担後の四半期純利益は51百万円（前年同四半期は96百万円の四半期純損失）となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は次のとおりであります。なお、セグメント間の取引については、相殺消去前の数値によって表示しております。

ガソリンを中心とした燃料油やカーケア商品の販売事業及び車検・整備事業を運営するライフエネルギー事業部門の売上高は3,771百万円（前年同四半期比105百万円増収）、セグメント損失は8百万円（前年同四半期比39百万円増益）となりました。

主力商品であるガソリン販売は、エネルギー全般の節約志向の高まりや低燃費車の普及により販売数量が大幅に減少しましたが、直販部門による大口需要家向け燃料油の増強と環境対策として手掛けている自動車エンジン清浄機器の販売数量の増加等により、売上高は前年同四半期を上回りました。しかしながら利益面では、SS間の価格競争は熾烈で、仕入価格の変動分をタイムリーに販売価格に反映させることが困難な状況が続き、適正なマージンの確保ができなかったため、セグメント損失を解消するにはいたりませんでした。

レンタカー事業、保険代理店及び中古車売買・斡旋事業を運営するカーライフサポート事業部門の売上は332百万円（前年同四半期比2百万円減収）、セグメント損失は8百万円（前年同四半期同水準）となりました。

当事業の中核であるレンタカー部門では、法人契約の推進と個人顧客に対する短時間利用等、多様なメニューの提供により稼働率の向上に努めましたが、格安レンタカーの参入や法人取引先のコスト削減等の影響を受け、売上高は減少となりました。また、省エネ及び環境対策への取り組みの一環として、EV（電気自動車）やハイブリッド車等のエコカー導入の推進に伴い、原価率が上昇したことによる結果であります。

BMW車、フォード車、ジャガー車、プジョー車の4ブランドの輸入車正規ディーラーを運営するカービジネス事業部門の売上は4,262百万円（前年同四半期比203百万円増収）、セグメント利益は71百万円（前年同四半期比72百万円増益）となりました。

当第1四半期連結累計期間における国内の新車（登録車）販売台数は882千台と前年同四半期実績（608千台）を上回り、その大部分がエコカー減税などの施策による低燃費車両への需要によるものでありますが、輸入車正規ディーラー業務を運営する当社グループでは、BMW車を中心としたニューモデルの積極的な販売強化策により、新車販売台数及び新車売上高は前年同四半期を上回り、中古車販売及び車検・整備の取扱いの増強策も寄与しセグメント利益は大幅に改善しました。

ビルメンテナンス事業及び不動産賃貸事業を行なう不動産関連事業部門の売上は119百万円（前年同四半期比6百万円増収）、セグメント利益は30百万円（前年同四半期比1百万円増益）となりました。

不動産関連事業部門は、安定した顧客を確保しており、引続き堅調に推移しました。

## （2）連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、13,196百万円と前連結会計年度末に比べ979百万円減少しました。これは主として流動資産が871百万円減少したことによるものであります。負債合計は9,617百万円と前連結会計年度末に比べ994百万円減少しました。これは主として流動負債が862百万円減少したことによるものであります。純資産合計は当第1四半期連結累計期間の業績を反映し14百万円増加して3,578百万円となりました。

その結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は2.0ポイント増加して27.1%となりました。

## （3）連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、欧州諸国の財政危機やアジア経済の成長の鈍化が見込まれ、世界経済の下振れの懸念が強く、景気の先行きは不透明な状況が続くものと予想されます。

第1四半期累計期間の業績は、セグメント別に差異が生じたものの、四半期利益は計画通りであり、業績予想につきましては平成24年6月19日公表の数値を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年5月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく原価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,357,062	1,033,233
受取手形及び売掛金	2,204,206	2,101,829
商品及び製品	2,155,922	2,041,908
原材料及び貯蔵品	16,831	17,936
繰延税金資産	70,570	63,773
その他	965,283	634,940
貸倒引当金	△37,196	△32,047
流動資産合計	6,732,681	5,861,572
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,242,818	1,221,688
土地	3,890,088	3,890,088
リース資産(純額)	719,570	656,649
その他(純額)	418,968	413,445
有形固定資産合計	6,271,445	6,181,870
無形固定資産		
のれん	26,030	20,782
その他	20,261	19,999
無形固定資産合計	46,291	40,781
投資その他の資産		
差入保証金	727,608	717,239
繰延税金資産	22,806	23,467
その他	383,890	380,657
貸倒引当金	△9,407	△9,405
投資その他の資産合計	1,124,896	1,111,958
固定資産合計	7,442,633	7,334,610
資産合計	14,175,315	13,196,183
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,197,443	1,952,240
短期借入金	5,105,872	4,756,000
1年内返済予定の長期借入金	291,020	262,338
1年内償還予定の社債	30,000	30,000
リース債務	363,482	342,637
未払法人税等	72,402	17,598
賞与引当金	106,272	55,796
その他	901,873	789,545
流動負債合計	9,068,366	8,206,155

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年7月31日)
<b>固定負債</b>		
社債	90,000	75,000
長期借入金	550,666	486,226
リース債務	400,761	355,065
繰延税金負債	13,890	11,157
退職給付引当金	368,821	371,441
役員退職慰労引当金	97,258	90,740
その他	22,242	22,151
<b>固定負債合計</b>	<b>1,543,641</b>	<b>1,411,781</b>
<b>負債合計</b>	<b>10,612,007</b>	<b>9,617,937</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	411,250	411,250
資本剰余金	462,500	462,500
利益剰余金	2,703,752	2,722,961
自己株式	△27,174	△27,174
<b>株主資本合計</b>	<b>3,550,328</b>	<b>3,569,537</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	11,964	7,259
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>11,964</b>	<b>7,259</b>
<b>新株予約権</b>	<b>1,015</b>	<b>1,450</b>
<b>純資産合計</b>	<b>3,563,307</b>	<b>3,578,246</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>14,175,315</b>	<b>13,196,183</b>



(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成23年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年7月31日)
売上高	8,118,146	8,407,465
売上原価	6,812,405	7,001,641
売上総利益	1,305,741	1,405,823
販売費及び一般管理費	1,363,071	1,337,233
営業利益又は営業損失(△)	△57,330	68,590
営業外収益		
受取利息	759	645
受取配当金	864	879
受取手数料	14,097	13,378
違約金収入	—	6,790
その他	7,794	3,670
営業外収益合計	23,515	25,364
営業外費用		
支払利息	21,845	18,626
その他	2,401	315
営業外費用合計	24,246	18,942
経常利益又は経常損失(△)	△58,061	75,012
特別損失		
固定資産除却損	590	106
その他	25	—
特別損失合計	616	106
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△58,678	74,905
法人税、住民税及び事業税	10,227	17,947
法人税等調整額	27,889	5,937
法人税等合計	38,116	23,885
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△96,794	51,020
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△96,794	51,020

【四半期連結包括利益計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成23年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△96,794	51,020
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△639	△4,704
その他の包括利益合計	△639	△4,704
四半期包括利益	△97,434	46,315
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△97,434	46,315
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年5月1日至平成23年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ライフエネ ルギー事業	カーライフ サポート事 業	カービジネ ス事業	不動産関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,632,077	323,919	4,057,019	105,130	8,118,146	—	8,118,146
セグメント間の内部売上高 又は振替高	34,239	10,789	2,379	8,272	55,680	△55,680	—
計	3,666,316	334,708	4,059,398	113,402	8,173,826	△55,680	8,118,146
セグメント利益又は損失(△)	△47,581	△7,885	△1,386	29,671	△27,182	△30,148	△57,330

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△30,148千円には、セグメント間取引消去32,571千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△62,719千円が含まれております。なお、全社費用は管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年5月1日至平成24年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ライフエネ ルギー事業	カーライフ サポート事 業	カービジネ ス事業	不動産関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,732,872	322,410	4,241,883	110,298	8,407,465	—	8,407,465
セグメント間の内部売上高 又は振替高	38,393	10,099	20,370	8,834	77,697	△77,697	—
計	3,771,265	332,509	4,262,253	119,133	8,485,162	△77,697	8,407,465
セグメント利益又は損失(△)	△8,567	△8,198	71,756	30,680	85,670	△17,079	68,590

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△17,079千円には、セグメント間取引消去28,410千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△45,490千円が含まれております。なお、全社費用は管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。